



Team石川



小中一貫CSだより第65号 令和3年8月25日 文責:木村 傑



めざす子ども像(15歳の姿): 将来への憧れ・夢・希望・目標をもち、意欲的に学習に取り組み、自分の考えや思いを豊かに表現できる生徒

小中合同研修会を実施して～三戸学園視察～

8月6日(金)小中合同研修会を行いました。これは、石川小・中学校教職員が例年行っている研修会です。今年度は、小中一貫教育を実施している三戸学園(三戸小・中学校)を視察し、小中一貫教育に係るソフト面やハード面について、実際に自分たちの目と耳で見て聞いて、肌で感じる研修として成果を持ち帰り、令和6年度完成予定の石川小・中学校一体型校舎に生かすことができればという思いから実現に至ったものです。

三戸学園では、小中9年間の教育課程を初等部(1年生～4年生)、中等部(5年生～7年生)、高等部(8年生～9年生)というように4・3・2制で学年を区割りしています。これについては、長所と課題があるとのことですが、トータルすれば長所が上回るという意味のお話でした。ただ、課題をクリアしていくためには小学校と中学校の文化の違いを認めた上で、情報共有や共通理解を徹底し、つながりを一層強くすることが重要であるとのこともありました。納得できる説明にうなずき共感できました。すべてにおいて、子どもたちに教育成果が還元されるといった意味での長所を生み出すため、必要な課題をクリアしていこうとする気概が大切なのだと感じました。

日程や内容は下記のように進められました。三戸町教育委員会や三戸小中学校教職員の皆様には大変お世話になりました。また、この研修会の実現にあたっては、弘前市教育委員会学校整備課が三戸町教育委員会との調整等にあたってくれました。とても充実し有意義な研修会となり、関係の皆様には感謝申し上げます。

- 8:30 石川小学校出発 
- 10:50 三戸町役場到着
- 11:00
 - ・教育長あいさつ
 - ・訪問者代表あいさつ
 - ・教育委員会事務局説明
 質疑応答
- 12:55 三戸学園着
- 13:00
 - ・校長あいさつ
 - ・訪問者代表あいさつ
 - ・学校からの説明
 学校見学
 質疑応答
- 14:40 三戸学園出発 
- 17:00 石川小学校到着





小中一貫教育に向け～校内研修・研究主題について～

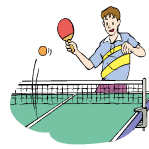
8月19日（木）石川中校にて、第2回小・中一貫教育研究協議会を実施しました。小・中学校一体型校舎の完成とそれに伴った小中一貫教育が、令和6年度からスタート予定のところですので。そこで、小中統一の研究主題について協議しました。小学校と中学校の研修主任がそれぞれチーフとなって2分科会での話し合いをもちました。どちらの分科会も積極的に意見を交わし合う熱い協議となりました。キーワードとして、‘主体的’‘自主的’‘気づき・考え・実行’‘あじさい’‘個と集団’‘シンキングツール’‘対話的’‘みんなで’‘協働的’‘表現できる・表現し合う’などが報告されました。これらは、次の機会に生かされるものと思います。

校舎が一つになるからこそその長所や利点を見つけ出し、それらを最大限伸ばし、子どもたちに教育成果として還元できる流れをつくるためにも、まず、小学校と中学校の教職員がしっかりと手を取り考えを寄せ合って協議し合うことは非常に重要なことだと思います。今後も、継続して第2弾、第3弾と協議の場をもち、小中統一の研究主題の設定に努力していきたいと考えています。

学校体育施設開放事業について

7月27日（火）学校開放運営委員会が石川小学校にて行われました。例年、春に行っていた会議ですが、コロナ禍により見合わせていたところでした。先般、弘前市教育委員会から、各学校で準備が整い次第実施してよい旨連絡が入ったことにより開催に至りました。各団体代表者が出席のもと、今年度の利用種目が確認されスタートしました。

小学校では、体育館やグラウンドをつかってバレーボール、バドミントン、卓球、剣道、野球が行われ、中学校では、体育館をつかってソフトバレーが行われます。コロナ禍のため感染症予防対策を徹底していただきながら、競技力の向上やスポーツの楽しさを味わって健康の向上につながるような開放事業になれば幸いです。



新校舎建築に関わって地質調査が行われています

新校舎建築については、来年度工事着工となります。その前に、新校舎が建つ敷地（現在の小学校グラウンド）の地質調査が行われています。期間は8月2日（月）～9月2日（木）



となっています。敷地内数カ所の機械によるボーリング調査となっています。安全のため4m四方の囲いが設けられていますが、小学校では、体育の授業や昼休みの遊び場として制限されるので、不便を感じると思います。中学校では、登下校の際に注意をしてほしいと思います。

児童生徒の皆さん、状況を理解し、安全な作業となるように協力しましょう。